

第4 いわき出張所

(1) 被災者に対する健康支援

1 被災者健康サポート事業【全庁重点・所重点】

借上住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持できるよう、避難元市町村及びいわき市と連携しながら、健康支援活動の実施体制を整備するとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた健康支援活動を実施しました。

(1) 復興公営住宅等への家庭訪問

市町村からの依頼を受け、家庭訪問により、健康状態の把握を行い、健康相談、継続支援活動等を実施しました。

■家庭訪問等

(単位：延べ人)

市町村	訪問		所内外相談	合 計
	自宅等	復興公営住宅		
南相馬市	10	0	0	10
広野町	0	1	11	12
楢葉町	16	17	21	54
富岡町	23	22	43	88
川内村	0	0	1	1
大熊町	4	6	26	36
双葉町	5	3	11	19
浪江町	54	16	29	99
その他	2	0	0	2
計	114	65	142	321

※いわき地区における仮設住宅は令和2年度で全て撤去となったため、仮設住宅への訪問なし。
この他、電話相談で延べ760人を対応しています。

(2) 健康教育・健康相談会等の実施支援

当所主催及び市町村等が実施する健診、健診結果説明会、サロン等に、保健師、看護師、管理栄養士等を派遣し、避難者の健康の保持・増進や介護予防等の活動を支援しました。

実施回数：延べ 34回	参加人数：延べ 294人
-------------	--------------

■町村等主催の健診・健診結果説明会等への専門職の派遣状況（延べ）

市町村等	回数（回）	内 容	相談者(人)
檜葉町	3	健診結果説明会	18
富岡町	6	健診結果説明会 親子交流会	57
大熊町	9	総合健診 健診結果説明会	29
双葉町	5	総合健診 健診結果説明会	24
浪江町	6	総合健診 健診結果説明会 健康講話	127
復興公営住宅	5	健康相談会	39
計	34		294

(3) 市町村事業の協力支援

平成 26 年度から市町村の依頼を受け、特定健康診査を受けた 40～74 歳の方の一部で、動機付け及び積極的支援が必要な方を対象に家庭訪問又は電話指導等により特定保健指導を実施しました。

■特定保健指導実施状況（上記の専門職の派遣状況に含まれている）（単位：人）

町村名	令和6年度				
	動機付 支援者	積極的 支援者	計	内訳	
				支援希 望なし ※1	支援中
檜葉町	4	2	6	0	6
富岡町	13	4	17	3	14
大熊町	26	0	26	7	19
双葉町	5	1	6	1	5
浪江町	15	0	15	5	10
計	63	7	70	16	54

※1 服薬中・不通含む

■被災した障がい児・者の健康支援に係る関係機関との連携

双葉地方地域自立支援協議会との連携

いわき地域の課題について、双葉地方地域自立支援協議会構成機関等と情報を共有し、母子保健支援体制の充実に向けて協議するため、自立支援協議会こども部会に参画しました。

参加回数：2 回（就学説明会を含む）

2 被災者の心のケア事業【全庁重点・所重点】

被災者のうつ病、アルコール問題等の心の問題に適切に対応するため、市町村やふくしま心のケアセンター浜通り南方部センター等と連携を図りながらメンタルヘルス課題に対応しました。また、措置入院者の退院後支援を実施しました。

ア 会議・打合せ（再掲）

（ア）ふくしま心のケアセンター（浜通り南方部センターも含む）

会議・打合せ：4回

（イ）その他関係機関：30回

イ ふくしま心のケアセンター同行訪問 実：1件、 延べ：2件

ウ メンタルヘルスに関する個別支援件数（再掲）

実：35件 延：368件

（所内相談4件、所外相談12件、電話相談293件、訪問59件）

エ 措置入院者の退院後支援に関すること

被災者措置入院者が退院後に必要な医療、福祉、介護、就労支援等の包括的な支援を継続的かつ確実に受けられるよう支援し、措置入院者の社会復帰の促進等を図った。 実：2件、 延べ：47件

(2) 被災者支援に係る市町村等との連携

1 被災者支援に係る市町村等との連携強化事業【所重点】

(1) 保健事業担当学会議の開催

いわき地域に避難している住民への健康支援の調整を図るため、南相馬市、双葉郡町村、いわき市及びふくしま心のケアセンターなどを招集し、会議を開催しました。

■保健事業担当学会議の開催状況

（単位：人）

開催月日	議 題	参加者
令和6年 5月15日	1 説明・報告 ・令和5年度被災者に対する健康支援等実績、令和6年度健康支援体制について ・令和5年度母子保健事業実績について、令和6年度母子保健事業について 2 情報交換 ・いわき市内避難者における健康増進事業等に関するアンケート調査結果について 3 協議 ・いわき市内避難者への健康意識調査について 4 情報提供 ・ふくしま心のケアセンター浜通り南部センターの活動について ・NPO 法人 Communu with 助産師の事業について ・乳幼児健診事後支援依頼様式について	24

(2)市町村及び関係機関との会議、打ち合わせ

ア 市町村との打合せ

避難者に対する健康支援活動が効果的に実施できるよう、避難元市町村及びいわき市と情報交換や課題の整理、対応策の検討等を行いました。

■市町村との打合せ回数

(単位：回)

市町村	南相馬市	広野町	楡葉町	富岡町	大熊町	双葉町	浪江町	いわき市	市町村 以外	計
回数	2	1	7	11	13	12	6	7	57	116

イ 市町村ケア会議への参加

市町村またはいわき出張所が訪問したケースについて、情報共有、今後の方針について話し合うために、市町村が開催するケア会議に参加しました。

■ケア会議の参加回数

(単位：回)

市町村	楡葉町	富岡町	大熊町	双葉町	浪江町	市町村 以外	計
回数	1	5	1	2	11	1	21

2 被災者支援に係る連携事業（健康増進・介護予防等事業）

南相馬市・双葉8町村が相互利用可能な事業の情報を取りまとめ、周知用資料の作成・配布を行いました。実施された相互利用可能な事業には、他市町村から実41人が参加し、全体で実181人、延べ2,470人が参加しました。

3 復興公営住宅入居者の健康づくり・介護予防事業

復興公営住宅入居者に対する健康支援活動が効果的に実施できるよう、関係者と連携事業や情報交換等を行いました。

- NPO 法人みんぷくのサロンで配付する栄養に関する資料を作成・提供：2回
- いわき市復興公営住宅自治会交流会等関係者会議等への参加：1回

(3) 母子保健対策の推進

1 被災した子どもの健康生活対策等総合支援事業【全庁重点・所重点】

(1) 子ども健やか訪問事業

震災により、避難生活を余儀なくされている子ども（1歳児、4歳児及び継続支援を必要とする児）がいる家庭を訪問し、心身の健康に関する相談、生活・育児に関する相談等に対応することにより、子育て家庭の不安の軽減を図りました。

■子ども健やか訪問実施件数

市町村	年齢	対象数 (人)	訪問実数 (人)	訪問延数 (人)
南相馬市	1 歳	0	0	0
	4 歳	0	0	0
	継続	2	2	8
富岡町	1 歳	1	1	1
	4 歳	4	4	4
	継続	0	0	0
浪江町	1 歳	3	3	3
	4 歳	1	1	1
	継続	1	1	1
計		12	12	18

2 市町村母子保健支援事業【所重点】

(1) 母子保健事業検討会の開催

いわき地域に避難している住民のいわき市乳幼児健康診査及び乳幼児健康診査事後フォローの実施体制等の調整を図るため、いわき市、南相馬市、双葉郡町村の保健師等を招集し、検討会を開催しました。

■母子保健事業検討会の開催状況

開催日	議 題
令和6年 12 月 19 日	① 乳幼児健康診査及び事後フォローについて ② 相双地域あそびの教室について ③ 言語聴覚士による幼児健康相談会について ④ 相談先の周知について ⑤ 情報交換「母子で住民票が異なる場合の支援について」 ⑥ グループワーク「思春期に被災を経験した母親・父親の支援について」

事前打ち合わせ

- ・双葉郡町村（楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町）：各 1 回
- ・いわき市：1 回
- ・各関係機関との連絡調整業務

施設や他の支援団体等の関係機関等との連携や情報交換をとoshi、避難者の課題やニーズの把握に努め、課題の整理や関係機関間の調整を行いました。

関係機関、団体主催の会議への参加：77 回

(2) いわき市の乳幼児健康診査への協力

事後支援の必要な幼児等が増えている状況を踏まえ、いわき市が実施する1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査において、事後支援にかかる情報を現場から把握し、各市町村と連携して適切な支援に結びつけることを目的として、保健師の派遣を実施しました。

派遣回数：保健師93回

■いわき市乳幼児健康診査派遣回数

(単位：回)

年度	いわき出張所派遣回数				
	4か月児	10か月児	1歳6か月児	3歳児	計
R4	12	12	73	80	177
R5			70	77	147
R6			46	47	93

(3) 相双地域あそびの教室の開催

発達の遅れやその心配のある幼児の発達状況の確認及び保護者の理解を促し、適切な対応を行えるよう、子どもの心のケア事業による専門職派遣を活用して、南相馬市、双葉郡8町村、相双保健福祉事務所いわき出張所で共同開催しました。

相双地域あそびの教室開催回数：10回 参加児数：実21人、延べ89人

■相双地域あそびの教室の実施状況

開催月日	内 容
令和6年5月20日、6月17日、7月22日、8月19日、9月30日、10月28日、11月18日、12月16日 令和7年1月20日、2月28日	①保護者に対する相談、助言、指導 ②幼児に対する発達を促す集団指導及び個別指導

(4) 言語聴覚士による幼児健康相談会の開催

発達の遅れやその心配のある幼児の保護者の理解を促し、適切な対応を行えるよう、南相馬市、双葉郡7町村、相双保健福祉事務所いわき出張所で共同開催を企画しましたが、参加者はいませんでした。

(5) 子どもの心のケア事業における医療支援事業（発達相談会）への協力

東日本大震災により被災した障がい児（その疑いのあるものを含む。）を対象とした児童精神科医、公認心理師等による医療支援を行う発達相談会に3回協力しました。

3 小児慢性特定疾病対策事業

小児慢性疾患のうち、治療法の確立していない特定の疾患に罹患している児童に対し、治療研究に必要な費用を交付し、患者家族の医療費の負担を軽減する事業の受給児童に対する療養相談に対応しました。また、申請に関する相談対応や制度、社会資源に関する情報提供を行いました。

新規申請：1件、電話：30回、訪問：3回、所外相談：1回

4 不妊症等で悩む方への支援事業

高度生殖医療（体外受精・顕微授精）による不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部助成に係る相談対応していますが、相談はありませんでした。

(4) 肝炎対策の推進

保健所における肝炎相談事業

肝炎の早期発見と患者・家族等の不安の軽減を図るため、電話及び来所での相談への対応を行いました。

相談対応件数：2件

(5) 難病対策

1 難病在宅療養者支援体制整備事業

(1) 難病患者相談指導事業

いわき地域へ避難している難病患者の在宅療養を支援するため、保健師、栄養士等による家庭訪問等で相談に対応しました。（随時）

■相談対応実施状況

・来所相談：延べ人数 98人（実人数77人）

（単位：人）

実人数	延べ人数	相談内容（再掲・延べ人数）								
		申請等	医療	家庭介護	福祉制度	就労	就学	食事栄養	歯科	その他
77	98	94	4	0	0	0	0	0	0	0

・電話相談：延べ件数 64件

・家庭訪問（再掲）：延べ件数16件（実14件）

(2) 難病患者医療相談事業

いわき市保健所と協力開催とし、いわき市主催で3回、当所主催で2回実施しました。専門職からの助言や、患者及び家族同士の交流を行いました。

■医療相談事業の実施状況

①開催日時：令和6年12月17日

開催場所：いわき合同庁舎 4階小会議室

対象者：スチル病患者及びその家族

参加者数：4人（うち相双地域1人）

内容：情報交換「日常生活で困っていること、工夫していること」

②開催日時：令和7年2月19日

開催場所：いわき合同庁舎 4階大会議室

対象者：難病患者及びその家族

参加者数：会場10人（うち相双地域6人）

内容：①講話「自分を知り、生きること」

講師 福島県立医科大学看護学部

②インタビュー形式によるディスカッション

③交流会

■申請受理及び進達件数

（単位：件）

新規	更新	転入	変更等
13	117	0	18

2 特定疾患治療研究事業・指定難病医療費助成事業

難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく医療費助成制度による指定難病（341疾患）及び特定疾患治療研究事業の対象疾患（5疾患）の治療研究を行うとともに医療費の自己負担の軽減を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

3 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

患者の医療負担の軽減を図り、精神的、身体的不安の解消を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行っていますが、申請はありませんでした。

(6) 各種免許の交付

1 医師免許等の交付事務

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師等医療従事者の免許申請に係る事務等を行いました。

薬剤師免許新規申請進達件数： 〇 件

看護師免許新規申請進達件数： 〇 件

理学療法士免許新規申請進達件数： 1 件

准看護師免許新規申請進達件数： 〇 件

2 栄養士・管理栄養士指導事業

栄養士免許新規申請進達件数： 〇 件

(7) 生活習慣病対策の推進

生活習慣病予防啓発事業

「世界禁煙デー」、「禁煙週間」やたばこの健康影響などについて、復興公営住宅でチラシの配布、ポスターの掲示、いわき合同庁舎内一斉放送等で啓発活動を行いました。